

佐和山ハイキング

高山雅史

実施日 令和3年10月21日

コロナ禍で外出制限が続いたので軽いハイキングにしました。佐和山城跡巡りです。

JR彦根駅より歩いてまず麓の龍潭寺を見学しました。この寺は井伊直政以前の菩提寺であり以後は隣の清涼寺です。佐和山城域は清涼寺の領地です。

井伊家の歴代藩主の何人かは各地に菩提寺を持っています。

龍潭寺垣沿いの佐和山城主石田三成の像を見て龍潭寺本堂に入ります。方丈には2つの庭があり補陀落山をかたどった枯山水の「ふだらくの庭」（開山昇天和尚作）は数多くの苔に覆われた渋い茶色の石組みと築山全体が鶴亀で表現され、「鶴亀蓬莱庭園」（小堀遠州作）は佐和山の峰を借景に池を配した見応えのある庭園です。さらに芭蕉門弟で有名な森川許六の56枚の襖絵があり多芸の才人と言われたことがよくわかります。



この寺内には禅宗の大学寮があってその中の園図科は日本造園専門学の発祥とされています。また「だるま寺」とも呼ばれ毎年4月には大小三千個の「だるま祭り」が行われています。

寺の横にある登山口から登ります。墓地を抜けると急登が始まり切通の分岐に着きます。道は鳥居本に通じています。少し行くと煙硝（塩）櫓といわれる塩保存蔵から西の丸跡を通り本丸跡の頂上に着きました。城主石田三成が関が原で敗れた後井伊直政が彦根城を作った際に石垣を徹底して破壊したため15m近く佐和山山頂を削ったといわれています。頂上からの展望は荒神山、多景島、彦根城が一望のもとに見えます。天守閣跡の隅石垣と井戸跡の千貫井をみて本丸跡で昼食。同じ道を下り龍潭寺の隣の清涼寺を見てJR彦根駅に戻りました。快晴の心地よい秋のハイキングでした。



龍潭寺門前



清涼寺門前